人は楽しむために生まれてきた
人類よ、めざめよ

日本国民への提言 ⑥⓪

たまごビル院長　石垣　邦彦

〒581-0061
大阪府八尾市春日町1-4-4
電話072（991）3398
FAX072（991）4498
ホームページアドレス
http://www.tamagobl.com/

たまご理論で病気のしくみを考える

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで日本を再生する

日本における新型コロナウイルスに対する根本的な対応を7項目にわたって提案。尚、通常言われている一般的な事柄は省きます。

【Ⅰ感染すること＝悪ではない】

地球が誕生して45億年、生命が誕生して40億年。その間、地球と生命・生命と生命の間に、つまり地球環境と・生命どうしの間に、「いのち」をつなぐための共進関係を通した進化がおこり（表1）、現在の人類とウイルスがあります。

分かりやすい例をとりましょう。

アフリカの原野に弱肉強食の世界があります。

生まれたての小鹿は脚がころもとないために逃げ遅れライオンの餌食になってしまいます。かわいそう、どうなるかなとはらはらしながらみていた経験がみなさんおありでしょう。

しかし、考えてみればライオンも食べなくては生きてはいけません。ライオンも子を育てねばなりません。誰がライオンを責められましょうか。

また、そこには一定のルールがあることにきづかされます。

ライオンは食べられる以上の死を求めないのです。お互いに、お互いの「いのち」をつなげられるように無駄に死を多くすることはないのです。食物連鎖というお互いの「いのち」をつなぐルールがあるのです。

人類とウイルスの間にも、お互いに「いのち」をつなぐルールづくりが必要です。感染することは悪ではなく自然なことです。共存してゆくルールがそこに必要です。人類中心のルールでは、人類そのものも成り立たなくなります。

【Ⅱ重症化を防ぐことが大事】

大事なことは重症化を防ぐことです。

2020年5月27日9時56分JST イタリア国立衛生研究所が広範囲にわたる研究成果を発表しています。その内容は

①死者の平均年齢は80歳、50歳未満はわずか1・1パーセント

②96％に基礎疾患（持病）のある方は、重症化し死に至るという事実です。

つまり、高齢者で基礎疾患（持病）のある方は、重症化し死に至るという事実です。そのため、高齢者で基礎疾患のある方はそのことを自覚し、日々の生活に十分注意し、隔離あるいは隔離状態にし、自重して生活することが大事です。決して他人任せにしてはなりません。

それほどの高齢者でなくとも志村けんさんの3箱のたばこ・大量飲酒、岡江久美子さんの乳がん手術・抗がん剤・放射線療法による免疫力の低下と肺の代謝力の低下した状態では、本人の自覚と隔離した状態が必要です。

6月15日号で

京都大学大学院・医学部医学研究科
呼吸管理睡眠制御学　陳和夫特定教授の調査を紹介し、そこから基礎疾患のある方は「上腹部がかたく」呼吸が浅く肺の代謝が悪く新型コロナウイルスにかかりやすいことの因果関係を、わたしは導き出しました。

高齢者で基礎疾患のある方は「上腹部がかたい」状態です。そのため、横隔膜の上下動の幅が狭くなり、肺の代謝が非常に悪くなります。

その方を選び出し「上腹部のやわらかさ」をつくれば重症化は防げることになります。

【Ⅲ「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態をつくることにより自然免疫と獲得免疫を生かす】

重症化を防ぐためには、河内新聞の読者のみなさんはもうすでにご存じのように、「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態＝「上腹部のやわらかさ」がある状態＝「呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般の動き」が良い状態＝総合的免疫力がある状態＝自然免疫・獲得免疫が良くはたらく状態＝「上腹部のやわらかさ」がスムーズに「はたらく」状態＝「呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般の動き」が良い状態＝総合的免疫力がある状態＝自然免疫・獲得免疫が良くはたらく状態のそれぞれに相関関係があることです。われわれの意志でなんとでもなる、すべての人類に備わっている「からだ」の「しくみ」を生かすことです。

分子化された現代の免疫学では対応できないところでもあります。

ノーベル賞受賞者・本庶佑先生はすでに1999年12月30日に日本免疫学会ニュースレターでこう述べておられます。

「免疫学にとって、分子化は必ずしも物事の解決ではない。免疫のような個体統御系を考えるとき、一つの分子だけを中心にして全体をとらえることは不可能である。今後は免疫学がどのように分子化から総合化へと転換できるのか、次の20年がきわめて楽しみである」

その一つの解答として、わたしは「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態＝総合的免疫力を提唱させていただきます。

また、総合的免疫力に関連して

日本で免疫の第一人者である大阪大学免疫学フロンテイア研究センター・宮坂昌之教授は、文芸春秋8月号P330でこう述べられています。

「ワクチンや治療薬がなくとも個人レベルでできることもあります。「自然免疫」をフル活用するのです。それには体調を整えることが一番です」

また、NHKBS1『山中伸弥が聞く新型コロナ』で宮坂昌之教授は

「自然免疫がしっかりしていれば、獲得免疫のお世話にならずにウイルスを撃退できてしまう人もいるのかもしれない」

また、「自然免疫が強い方は、その後抗原（ウイルスなど）が一定以上入ってくると獲得免疫も動きやすくなる。なぜかというと獲得免疫というのは自然免疫がうまく動いて初めて獲得免疫が動くので、自然免疫の強い方は獲得免疫も非常に起こりやすい。自然免疫がしっかりしている人は通常、獲得免疫もしっかりしているのでかかりにくい人はかかりにくいのかなと思います」と述べておられます。

つまり「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態＝「上腹部のやわらかさ」がある状態＝「呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般の動き」が良い状態＝総合的免疫力がある状態＝自然免疫・獲得免疫が良くはたらく状態と相互関連がでてきます。

この「からだ」の「しくみ」を生かすことが、重症化を防ぐことになります。すでに重症化した方にも治療の手段ともなります。これからの人類にとっても非常に大事です。

【Ⅳ感染した無症状者・軽症者は働く、高齢で基礎疾患のある方は、生活を見直し、隔離状態も自覚する】

感染した無症状者・軽症者は感染させることがあるとしても、高齢者で基礎疾患のある方に対しても「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を保持すれば、重症化を防げます。

そのため、感染した無症状者・軽症者は社会生活をいつも通り行い経済活動を保持することが大事です。結局多くの自殺者を防ぐことにつながります。

そのため高齢者で基礎疾患のある方は、自分の立場を理解し、自分の「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態を保持する必要があります。重症化しやすい高齢者で基礎疾患がある方であるからこそ、自覚する必要があるのです。社会的役割分担をそれぞれの立場で担う必要があります。

【Ⅴクスリは効くのか、他の方法はないのか】

新型コロナウイルスで重症化する部位は、主に肺炎です。しかし、クスリを投与してもクスリが効いているのか、いないのか分からないのが現状です。踏み込んで言うと効いていない場合が多いと思われます。

また、クスリそのものが重症化の原因になっているというデーターがあります（注1）。

7月7日NHK朝のニュースで

金沢大学付属病院集中治療部　岡島正樹医師の活動に関する報道がありました。

岡島医師は

「新型コロナウイルスは未知の部分が多く当院には他の病院でクスリが効かず悪化した患者さんが入院してきたため、治療がない状態からのスタートでした。治療ができないとなれば、もう自己治癒力を高めるケアーしかなく、腹臥位療法はリスクもありましたが、チームのみんなが全員一致でやろうと言ってくれたからできたことだと思っています。

その結果、クスリの効かない新型コロナウイルス重症患者さんに腹臥位療法（注2）を行い、6人中5人が回復、歩いて退院できました」

と述べておられました。

ここで大事なのは、クスリを投与しても、重症化した患者さんをどう生き返らせるか工夫したことです。知恵を絞ったことです。医学的なガイドラインにないことをどう突き破るかという医師本来の使命感のなせる業です。医師に限りません。看護師・すべての医療従事者・事務員・ガードマン等全ての方に言えることです。

たまごビルの理念は「人は楽しむために生まれてきた」です。そのことを実現するための社会的役割分担が仕事です。どの職場にも必要な使命感です。誉と誇りあることです。

このNHKの報道を、わたしは川嶋みどり先生にお伝えしました。川嶋みどり先生は看護師の分野では神様と尊ばれている方です。ナイチンゲール記章を受賞された方でもあります。その川嶋先生が金沢大学医学部付属病院看護部に連絡を入れたところ、岡島医師は、「こうした反響があると励みになります」と感謝の言葉を述べられ、

看護師長は「当院のCOVITチームの良いところは、職種の壁を越えてケアーを考え、協力できる関係性だと思っています。ケアーを大切にする温かい部分がメディアを通して伝わることは、私自身もうれしく感じました」と早速、川嶋みどり先生に報告があったとのことです。

このように職種　医師・看護師・医療従事者・事務員・ガードマン等を含む病院関係者が壁をこえて協力できる関係性をもたれているのは素晴らしいことだと思います。

【Ⅵいろいろな原因による死】

人類は新型ウイルスが原因のみで死ぬのではありません。なぜ、そんなに大騒ぎするのでしょうか。

その大騒ぎする「なりたち」については、4月号で説明させていただきました。見事に今回も大騒動になったのです。

「あたらしい」ということから生まれる「なにがおこるかわからないということに」不安が生まれ、それではより早く・より強く規制をしようと世界中が突き動かされたのでした。前回2009年の新型インフルエンザ騒動については明確に本紙2009年11月5日号で解決策を述べているので参考にしていただきたいと思います。

表2をみていただければ一目瞭然です。各種の年間の死亡原因と死亡者数をランダムに記載しました。わたしたちは「新型」コロナウイルスということで舞い上がってしまったことになります。

リーマンショック以上の今回の不況と言われています。自殺者が多くなるのは必然です。新型コロナウイルスによる死亡者数どころの話ではありません。

【Ⅶ老化と死は「いのち」をつなぐ大切な役割】

人類は1年草の草花と同じ「はたらき」をもつ「生きもの」です。同じ仲間です。

「生まれ・成長し・子を育て・老化し・死にゆく」ことは1年草の草花と同じで正常なできごとです。

なぜ、人類だけが違うと思うのでしょうか。錯覚です。40億年からの生命の流れを見て自らを振り返り、老化と死の役割を人類の一人一人が腑に落とす必要があります。

老化と死は「いのち」をつなぐ大切な役割であり、時期です。

老化と死から生じる問題を他人に国に制度に医療に丸投げしてしまうことは間違いです。大きな解決できない問題を引きおこすことになり、本人も周りも不幸になります。

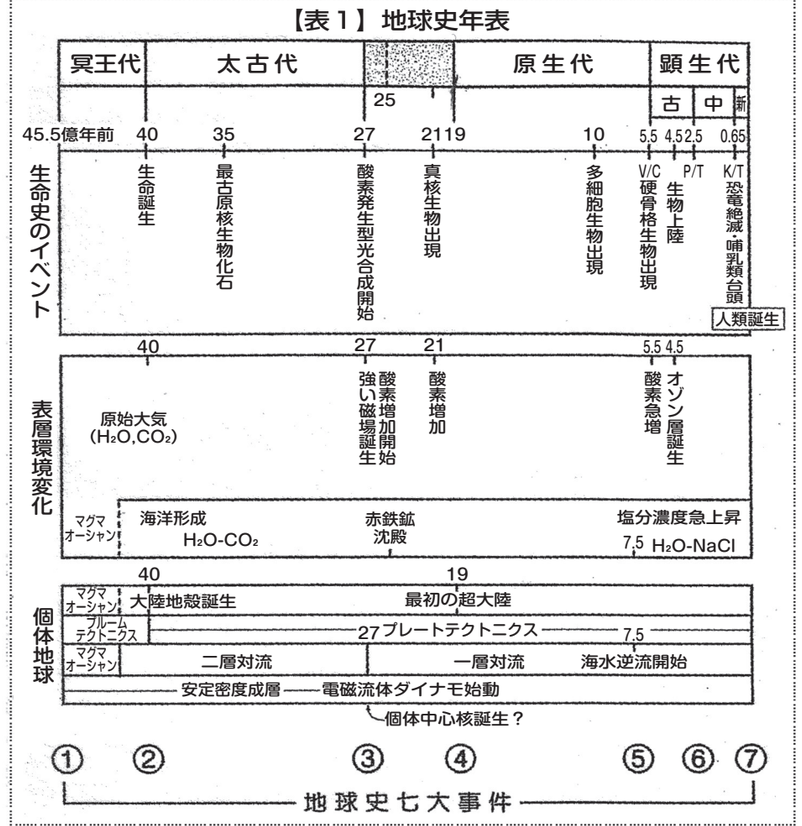
現在のありがたい日本だからこそ、老化と死のことを自分の問題としてとらえる必要があります。高齢者こそ、「いのち」をつなぐ役割を担っていることを自覚して立ち上がる必要があります。

注1 薬のチェック速報版参照
注2『看護に生かす腹臥位療法』日野原重明監修　川嶋みどり・丸川征四郎編著　日本看護協会出版会

新型コロナウイルスより怖いのはゼロリスクを求める人類だ④
コロナチャンスに変えよう

大阪万博に基本理念を提案する ⑫

【表1】地球史年表



【表2】それぞれの原因と死亡者数

飢餓での死亡　1500万人

- 第二次世界大戦　6000～8000万人
- 中国　大躍進政策　4500万人　文化大革命　1000万人以上
- 広島原爆　16万人　東京大空襲10万人　東日本大震災1万8000人
- 交通事故死　130万人
- 自殺　80万人　日本2019年　20169人
  リーマンショック2011年　32845人
  リーマンショック以上の不況2021年　自殺の増加
- 他の感染症による死亡
- 肺結核　150万人（日本1900人）
- インフルエンザ　30～60万人（日本3000人一関連死1万人）
- 肺炎　日本9万8000人（4日で1074人の死亡）
- 新型コロナウイルス　7月13日現在
  日本　感染者数21502人　死亡者数982人　回復者数17331人
  世界　感染者数1250万人　死亡者数56万人　回復者数689万人

復活 山口レコード　館長 河内家菊水丸
河内音頭記念館

〒581-0003　八尾市本町７丁目 12-24
ファミリーロード商店街内
☎(072) 995-1555
FAX (072) 995-1555
お近くにお越しの際には、是非お立ち寄り下さい
●館長 河内家菊水丸監修展示イベント開催中です●

総合企画建設業
中川企画建設㈱
【本　社】〒541-0059
大阪市中央区博労町4丁目2番15号
ヨドコウ第2ビル 4階
TEL 06-6252-1123
【八尾支店】〒581-0092
八尾市老原8丁目3番
TEL 072-968-7305

Très bien,Inc.
multi-food-produce
日本料理 天山 TENSAN
冠婚葬祭・各種パーティーのお料理
企画運営を承っております。
大阪府・奈良県内セレモニーホール指定業者
大阪府・奈良県内神社・寺院指定業者

家族葬　一般葬
社　葬　お別れ会　福祉葬
あなたの街の葬儀社
八光殿 HAKKODEN
お葬式の個別相談 24時間承っております
0120-39-8510
ホームページ https://www.8510.net/　はっこうでん　検索

第４期最終分譲開始　大型公園墓地
八尾　普泉寺霊園
完全バリアフリー設計　大駐車場完備
八尾市福栄町３丁目５番地
お問い合わせは
☎072-996-1111　普泉寺霊園　検索